

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
 TEL 03-5253-8111 内線42353
 アドレス <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成21年5月25日

リコール届出番号	2311	リコール開始日	平成21年5月26日
届出者の氏名又は名称	スズキ株式会社 代表取締役 鈴木 修 問い合わせ先：お客様相談室 TEL 0120-402-253		
不具合の部位（部品名）	電気装置（制動灯スイッチ） 燃料装置（燃料タンクキャップ）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>制動灯スイッチ内部の接点構造とグリスの組み合わせが不適切なため、アークにより接点部に絶縁物が生成されることがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該接点部の電気抵抗が増大して導通不良となり、制動灯が点灯しなくなるおそれがある。</p> <p>燃料タンクキャップの形状が不適切なため、亀裂が発生するものがある。そのため、開閉操作の繰り返しにより当該キャップの亀裂が進行し、そのまま使用を続けると燃料が漏れるおそれがある。</p>		
改善措置の内容	全車両、制動灯スイッチを対策品と交換する。 全車両、燃料タンクキャップを対策品と交換する。		
不具合の件数	85件 7件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールまたは電話等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、車わく（車台番号打刻位置付近）に 2311 のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スズキ	BA-CA41A	レッツフォー	CA41A-185041～CA41A-194045 平成19年1月9日～平成19年5月31日	9,005	
			CA41A-194046～CA41A-201065 平成19年6月1日～平成19年8月31日	7,018	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スズキ	JBH-CA43A	レッツフォー	CA43A-100050～CA43A-105399 平成19年3月5日～平成19年5月24日	5,350	
			CA43A-105400～CA43A-110679 平成19年6月7日～平成20年9月22日	5,280	
			CA43A-110680～CA43A-111639 平成19年10月1日～平成20年12月26日	960	
	BA-CA42A	アドレス V50	CA42A-125787～CA42A-133186 平成19年1月9日～平成19年5月30日	7,400	
			CA42A-133187～CA42A-138586 平成19年6月1日～平成19年8月31日	5,398	
	JBH-CA44A		CA44A-100028～CA44A-113608 平成19年8月24日～平成20年9月23日	13,581	
			CA44A-113609～CA44A-116128 平成20年10月1日～平成20年11月24日	2,520	
	JBH-CA45A	レッツ4	CA45A-100039～CA45A-137331 平成19年8月6日～平成20年9月30日	37,293	
			CA45A-137332～CA45A-148830 平成20年9月23日～平成20年12月9日	11,499	
	JBH-CA47A	レッツ5	CA47A-100055～CA47A-115447 平成20年2月21日～平成20年8月26日	15,393	
	BB-CA1PA	レッツ	CA1PA-415513～CA1PA-426112 平成19年6月1日～平成19年8月31日	10,599	
	BC-CF46A	アドレス V125	CF46A-100078～CF46A-132414 平成17年1月20日～平成18年1月11日	32,336	
			CF46A-500028～CF46A-599210 平成18年1月22日～平成20年8月29日	98,630	
			CF4EA-100047～CF4EA-107186 平成20年10月24日～平成20年12月23日	7,140	
	EBJ-CF4EA				
	(計9型式)	(計6車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成17年1月20日～平成20年12月26日	(計269,402台)	

105,718台

232,254台

本届出は、平成19年8月1日付け届出番号「1923」のリコール届出と同様な問題であるが、対象範囲外の車両およびリコールの交換部品において、同種不具合が発生したことから、対象範囲を拡大し、再度、リコールを実施するものである。

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。